

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

確かな学力と豊かな心、健やかな体を育て、生涯にわたって学び続けながら、社会の変化に対応して創造的にキャリアを形成し、地域の中核となって活躍できる人材を育成する。

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を実践し、学ぶ喜びを実感させ、主体的に課題を見つけて取り組む力を養う。
- (2) 学年の発達段階に応じたキャリア教育を行い、自己の生き方について考えを深めさせ、卒業後の自己実現に結びつける。
- (3) ボランティア活動や地域の行事等への積極的な参加、企業との連携等とおして、地域社会との協働や社会貢献を目指す。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、自分の進路に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 自分の進路に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、職業の種類や内容、社会との関わりについて知り、自己の将来の生き方について見通しを持ち、卒業後の進路を選択することができる。（知識・技能）
- (2) 自分の進路について当事者意識を持って真剣に向き合うなかで問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、理論的にまとめ、表現する力を身に付ける。（思考力・判断力・表現力）
- (3) 自分の進路についての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、自己の能力を生かしながら、地域・社会に貢献しようとする態度を育てる。（学びに向かう力、人間性等）

総合的な探究の時間の学習評価

以下の手順で、各評価の観点の到達度をはかり、年度末に文章表現による総合評価を行う。

- (1) 月1回の授業担当者会議で学習活動の進捗状況や評価の観点、指導上の留意点を共有する。
- (2) ワークシート、レポート、発表成果物、発表のパフォーマンス、振り返り等を評価の対象とする。
- (3) 授業担当者が毎時の活動状況を観察し、評価として加味する。
- (4) 発表時は授業担当者による評価に加え、参観者による評価や生徒相互による評価も加味する。

生徒の実態

基本的な生活習慣が身につけており、規範意識の高い生徒が多い。授業に落ち着いて取り組み、資格取得や卒業後の進路において堅調な実績を残している。特別活動にも積極的に取り組み、部活動等においても優れた成果を上げている。

さらに、主体的に課題を見つけて解決しようとする態度や、計画的に自主学習に取り組む姿勢を育てたい。また、自分の意見をしっかりと持ち、自信を持って積極的に表現していく態度を育てたい。

生徒の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする生徒への指導

- 職員間の情報共有
- 個別の配慮
- スクールカウンセラーとの連携
- 外部機関との連携

目指す生徒の姿

- 主体的に学習に取り組み、自ら課題を見つけ、解決しようとする生徒
- 将来の夢を持ち、高い目標を持って卒業後の進路を実現しようとする生徒
- 豊かな心と規範意識を持ち、他者への配慮や自己の責任を自覚し、集団の一員として責任を果たそうとする生徒
- 健やかな心身を育み、他者との協働を通して人間力の向上を目指す生徒
- 地域や社会の一員としての自覚を持ち、進んで貢献しようとする生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

- 【1学年】（普通科・商業に関する学科）  
SDGsなどを通して社会問題について学ぶことで社会参画意識を養い、自身の将来についても自発的に考えられるようにする。
- 【2学年】（普通科）  
地域の歴史や文化、自身の興味のある分野を学ぶことで、より具体的に社会や将来について考えられるようにする。
- 【3学年】（普通科）  
自身の将来を見据えながら主体的に課題を設定し、問題解決のために行動できるようにする。
- 【3学年】（商業に関する学科）  
地域社会の産業を支えるために、商業各分野の専門性を高める活動を通して、ビジネスの意義や役割について深く考えられるようにする。

学習活動、指導方法等

- 学習活動
- 【1学年】（普通科・商業に関する学科）  
プリント課題で諸問題について学習する。SDGsを通して諸問題を探究発表する。
- 【2学年】（普通科）  
古河市や修学旅行先の歴史や文化について探究する。3年生と合同で興味のある内容についてグループで探求発表する。
- 【3学年】（普通科）  
2年生と合同で自身の進路から課題を考えグループで探究発表する。
- 【3学年】（商業に関する学科）  
必要な知識習得や技術向上の深化を図る個別学習をする。外部機関の教材等を活用し、将来に向けたそれぞれのテーマをグループで探究発表する。外部機関と連携し商品会を行う。
- 指導方法等
- ・生徒自身で課題設定し、解決の道筋を立てる場面設定をし、必要に応じた助言を行う。
  - ・担任・副担、必要に応じてその他の教員など、複数の教員で指導を行う。
  - ・上級学校や企業による講演会等、外部との連携を行う。
  - ・「総合的な探究の時間」推進委員会で学習活動の評価観点や指導上の課題、進捗状況等を共有する。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 1 校内に「総合的な探究の時間」推進委員会を設置し、計画立案や進捗状況の確認、実施後の報告などを行う。
- 2 「総合的な探究の時間」授業担当者は各学年職員（クラスごとの活動は担任・副担任）とし、必要に応じて関係校務分掌長及び外部講師等も担当する。
- 3 「総合的な探究の時間」授業担当者は、毎月1回程度、指導内容や評価方法、ならびに活動の進捗状況等について情報共有を行う。
- 4 地域との連携及び校外学習（見学・体験学習等）、外部講師の招聘等は、関係校務分掌の協力を得て企画運営を行う。
- 5 進路についての話し合いや調べ学習等における各家庭での協力を依頼する。